

「第1回香川県鳥インフルエンザ対策本部会議」の開催について

本日、三豊市の採卵鶏農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザが疑われる事例が確認されました。

これを受け、香川県は、本日17時から、第1回香川県鳥インフルエンザ対策本部会議を開催します。

1 農場の概要

所在地：香川県三豊市

飼養状況：採卵鶏（約7万羽）

疫学関連農場： 1農場 採卵鶏（約4万羽） 合計約11万羽

※疫学関連農場とは、患畜又は疑似患畜が確認された農場と同一の管理者等が入り出している農場のことです。

2 第1回香川県鳥インフルエンザ対策本部会議の開催

(1) 日時 令和6年2月5日（月） 17時

(2) 場所 県庁本館12階 大会議室

(3) 議題 ①高病原性鳥インフルエンザが疑われる事例について
②疑似患畜の確認後の防疫措置について

(4) 出席者 本部長（知事）

副本部長（副知事）

本部員（政策部長、総務部長、知事公室長、危機管理総局長、
環境森林部長、健康福祉部長、商工労働部長、交流推進部長、
農政水産部長、土木部長、教育長、警察本部長）

事務局（畜産課、農政課）

出席者：約25名

3 今後の対応

本日17時から、「第1回香川県鳥インフルエンザ対策本部会議」を開催し、今後の防疫措置について速やかに検討するとともに、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」等に基づき、以下の措置について万全を期します。

(1) ①当該農場の飼養家さんの殺処分及び埋却

②農場から半径3km以内の区域について移動制限区域の設定

③半径3kmから10km以内の区域について搬出制限区域の設定等

必要な防疫措置を迅速かつ的確に実施。

- (2) 移動制限区域内の農場について、速やかに発生状況確認検査を実施。
- (3) 感染拡大防止のため、発生農場周辺の消毒を強化し、主要道路に消毒ポイントを設置。

4 その他

- (1) 現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあること、農家の方のプライバシーを侵害しかねないことから、厳に慎むよう御協力をお願いいたします。特に、ヘリコプターやドローンを使用する取材は防疫作業の妨げとなるため、厳に慎むようお願いいたします。
- (2) また、日本では、これまで家きん肉及び家きん卵を食べることにより、鳥インフルエンザウイルスが人に感染した事例は報告されていません。
- (3) 今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、生産者等の関係者や消費者は根拠のない噂などにより混乱することがないように、御協力をお願いいたします。